

少年団で聞かせられた  
夢の全国大会が現実

当別中学校剣道部

# 菅原 Sugawara Ikumi 郁実さん



## 胴着姿の姉がかっこよくて

**町** 内で伝統のある剣道競技。これまでも度々広報紙でも取り上げてきましたが、菅原郁実さん（当別中学校3年生）が中体連全道大会の個人戦において準優勝し、全国大会出場に向けて猛特訓中です。

**新十津川** 町で全道大会がありました。3分で三本勝負の個人戦を一本勝ちで4回勝ち進みましました。準決勝では時間中に決まらず、延長戦に。相手共にかかなり疲れていましたが仲間の「がんばれ」の一言に押されて手が伸び、無心のうちに面一本取ることができました。決勝では敗れましたが、準決勝の記憶は深く残っています。

**全国大会** へは北海道から2位までが出場できます。その切符を手にしたことは自分自身驚きで

すが、実は小学生の時、剣道少年団の稽古で、指導の石川卓治先生は「君たちは全国大会へ行くんだよ。」とよく声をかけてくれました。いつしかそれが自分の目標になり、その夢がかなったんですよ。姉も泣いて喜んでくれました。

**剣道** はかっこがいい。一足先に姉が少年団に入っていましたが、その姿にあこがれました。姿勢、気迫、他にはないものを感じて、双子の弟（宏夢）と一緒に小学校1年生から稽古に通うようになりました。それから8年間、弟ともよく稽古をつけましたが、小学校高学年までは私のほうが強かった。今、弟は部長ですけど、私の良い稽古相手です。打ち稽古が始まると、ほとんど兄弟喧嘩のようですが。

**顧問** の高橋周平先生は、「相手を休ませない。そして気が緩んだところに攻め入る。」と言います。そのためずっ

と打ち続けるだけのスタミナも必要です。最近、母の作る野菜スープが好きですが、トマト、キャベツ、人参など栄養を考えてくれています。そして大好きなアイスを食べること、これが元気の源かもしれません。

**得意技** は面です。少年団の時から基本を大切にと教えられました。真っ直ぐきれいに打つ。これが私流。だから全国大会でも自分らしいきれいな試合を目指します。全国大会は、8月18日から20日まで埼玉県越谷市での開催です。すごく暑いところみたいですね。

8月号に続き、今回も全国大会出場者の取材となりました。ロンドンオリンピックでも女性の活躍が目立ちましたが、男性も負けてはいられませんね。広報紙ではこれからも頑張っている人たちを追いかけ応援します。  
(8月10日取材)